

中学年分科会 (対象：4年2組31名)

1 分科会提案

(1) 目指すよい学習像

中学年分科会第4学年の目指すよい学習とは、「～たい！」がいっぱいな学習である。「～たい！」とは、「聞きたい」・「伝えたい」・「書きたい」・「読みたい」など、学習における活動を指す。学びとは、誰かにやらされるものではなく、学ぶ本人が学びたい気持ちをもつことから始まる。そんな学びの始まりを大切に、児童が主役の学習を目指していく。

(2) 「よい学習」を実現するための手だて

① 「～たい！」を引き出すゴール設定

本分科会では、児童の「～たい！」を引き出すためには、明確かつ児童の意欲が掻き立てられるようなゴール設定が重要であると考えた。その手だてとして「BAB（ビフォーアフターブック）展覧会」を単元のゴールにする。本単元では、戦時中の場面の様子と十年後の場面の様子を比べるビフォーアフターブックを作成する。これがあることによって変化と対話の観点が明確になり、価値ある対話を生む一助になるのではないかと考えた。そして、単元の終わりに、友達同士で見合う「BAB（ビフォーアフターブック）展覧会」を行う。（以下BAB）教師側は、BABそのものを評価するのではなく、それを作るためにどんな過程を経て学習したのか（対話を通して考えが広がったり、変わったりしている姿）を見取り、価値付けていく。

② 振り返りを生かした導入

児童の「～たい！」を引き出すためには、児童の考えや言葉から授業のめあてを立てることが大切である。本単元では、導入時に、前時のめあてが十分に達成できていたり、本時の活動に関連していたりする児童の振り返りを紹介する。そうすることで、教師主導の活動ではなく、児童自身で学習を進めていく充実感が得られ、「～たい！」がいっぱいな学習が展開されるのではないかと考えた。

2 単元名「仲間と読み広げて つくろう！BAB展覧会」

教材名「一つの花」（光村図書 国語4年上）

3 教材観

本教材は、4月の教材「白いぼうし」に続く文学的文章であり、戦争に関連した単元の学習としては、「ちいちゃんのかげおくり」（3年）からつながる教材である。本教材は、戦争の悲惨さやその時代背景、「一つの花」に象徴される子を思う親の心情を描いた作品である。「対比的な表現」や「比喩表現」が使われており、人物の心情や場面の様子を想像することを意識して読み深めることができる。友達同士の対話を通して、場面の変化について叙述を基に想像する力を育てていく。

4 単元の目標・評価規準

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
目標	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割によるまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。(1)オ	・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。C(1)エ	・教材文から想像したことを友達と共有し、自分の考えを広げようとする。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙をにしている。(1)オ	・「読むこと」において、変化のある叙述を見付けている。 C(1)ア ・「読むこと」において、変化のある叙述をつなげて物語の情景を具体的に想像している。 C(1)ア	・BAB 展覧会に向けて、意欲的に対話したり、学習を振り返ったりしている。 ・BAB 展覧会に進んで参加し、友達の BAB のよさを伝え合おうとしている。

5 児童の実態

4月に学習した「白いぼうし」では、登場人物の気持ちや性格について読み進めた。学習を通して、心情の変化について叙述を基に考えられる児童は15名程度、友達の意見を聞いて考えを広げられている児童は10名程度であった。この課題を解決していくために、本単元ではBABを作っていく過程で、本文に立ち返って考えている児童の姿や考えを広げている児童を見取り、価値付けていく

6 指導計画

次	時	主な学習活動	・指導上の留意点 ◆評価規準 ☆評価方法
1次	1	①「スイミー」のBABを作る。 ②単元のゴールを理解し、学習計画を立て、学習の見通しをもつ。	・物語を紹介するBABを書いて交流する面白さや価値に気付かせる。 ◆単元のゴールや学習計画を理解し、物語を紹介するBABを書く活動に意欲をもって取り組もうとしている。【態】☆発言・観察
2次	2	③範読から物語の全体をつかむ。 ④物語の初めと終わりの変化をノートに書く。	・登場人物の状況や行動、会話などに着目しながら読み、物語を捉える。 ◆様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。【知】☆観察・記述 ◆物語の最初と最後で変化したことを見付けている。【思】☆記述

	3	<p>⑤気付いた変化を全体で共有する。</p> <p>⑥自分が読みを深めたい変化を選び、BABの上のページに書く。</p>	<p>・叙述を結び付けて、何が読み取れるのかを考えさせる。</p> <p>◆物語の最初と最後で変化した「情景」を具体的に想像している。【思】 ☆発言・記述</p>
	4	<p>⑦変化の意味を読むために、同じ変化を選んだ児童と交流する。</p>	<p>・情景の変化と登場人物の気持ちの変化から考えられる物語の主題が伝わるようなBABになっているか確かめさせる。</p> <p>◆場面の移り変わりを結び付けて、自分の考えをもっている。【思】 ☆発言・記述</p>
	5 (本時)	<p>⑧解釈を豊かにするために、違う変化を選んだ児童と交流する。</p>	<p>・「自分の考えを変えたり広げたりした友達の意見」の点から振り返らせる。</p> <p>◆友達の考えを聞き、自分の考えと比較することによって、考えを広げている。【思】 ☆発言・記述</p>
3次	6	<p>⑨BAB 展覧会を開き、友達と BAB を読み合う。</p>	<p>・BAB を友達と読み合い、単元のまとめをする。</p> <p>◆BAB 展覧会に進んで参加し、友達の BAB のよさを伝え合おうとしている。【態】 ☆発言・記述</p>

7 本時の学習(5/6時間目)

(1) 目標

友達の考えを聞き、自分の考えと比較することによって、考えを広げる。

(2) 展開

	○学習活動	・指導上の留意点 ◆評価規準 ☆評価方法
導入 (5分)	<p>○慣用クイズをする。</p> <p>○単元のゴールを確認し、本時のめあてを立てる。</p>	<p>・学習に向かう動機付けのため短時間で行う。</p> <p>・見通しをもって学習活動に取り組ませるために、単元のゴールを確認する</p>
自分と友達の意見を比べて、自分の考えを広げよう。		
展開 (25分)	<p>【伝えタイム①】 トリオ</p> <p>○違う変化を選んだグループで交流し、変化から読み取れることを伝え合う。</p> <p>【伝えタイム②】 トリオ</p> <p>○前時と比べ、伝えタイム①を通して考えが変わったり、広がったりしたことを伝え合う。</p> <p>【書きタイム】 全体</p> <p>○「自分の選んだ変化から言えること」について再度考え、BAB に書き足す。</p>	<p>・対話の十分な時間を確保するために、違う変化を選んだ児童で予めグルーピングしておく。</p> <p>・記憶ではなく叙述を基に対話させるため、拡大した全文シートをグループに一枚用意する。</p> <p>・考えを広げさせるために、同じ変化を選んだ友達同士で、前時に記録したホワイトボードを活用しながら対話させる。</p> <p>・「平和になった。」「明るくなった。」等の抽象的思考に辿り着かせるために、変化から言えることが思い浮かばない児童には、「つまりどういうことか」と言葉掛けする。</p> <p>◆友達の考えを聞き、自分の考えと比較することによって、考えを広げ、BAB に書いている。</p> <p>【思】 ☆発言・記述</p>
まとめ (10分)	<p>【つなげタイム】 全体</p> <p>○振り返りをする。</p> <p>○次時の見通しをもつ。</p>	<p>・振り返りの視点を明確にするために、「自分の考えを広げられたかどうか」に絞って、ワークシートに書かせる。</p> <p>・次時の BAB 展覧会に向けての意欲を高めるために、単元のゴールを再度確認する。</p>

(3) 具体的な児童の姿と、目標の実現を目指すための手だて

十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要すると判断した児童 (C) への具体的な手だて
違う変化を選んだ児童の考えを聞き、自分の考えと比較している。これにより、「〇〇さんの考えを聞いたら考えが〇〇に変わった。」「〇〇という新しい発見が生まれた。」等、考えを広げている。	違う変化を選んだ児童の考えを聞き、自分の考えと比較している。	変化から言えることが思い浮かばない児童には「つまりどうか」と言葉掛けし、「平和になった。」「明るくなった。」等の抽象的表現に辿り着けるようにする。

【ビフォーアフターブック】

十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要すると判断した児童 (C) への具体的な手だて
戦時中と終戦後の変化を捉え、その変化から言えることについて、体験や既習の内容と結び付けてビフォーアフターブックに書いている。	戦時中と終戦後の変化を捉え、その変化から言えることについて、ビフォーアフターブックに書いている。	根拠となるような叙述に線を引かせたり、友達の考えを聞いたりするように言葉掛けする。

(4) 修正した本時の展開

	○学習活動	・指導上の留意点 ◆評価規準 ☆評価方法
導入 (5分)	<p>○慣用クイズをする。</p> <p>○単元のゴールを確認し、本時のめあてを立てる。</p> <p>分かりやすいめあてを立てるため、具体的な活動を表すものにする。</p>	<p>・学習に向かう動機付けのため短時間で行う。</p> <p>・見通しをもって学習活動に取り組ませるために、単元のゴールを確認する</p>
展開 (25分)	<p>【伝えタイム①】 トリオ</p> <p>○違う変化を選んだグループで交流し、変化から読み取れることを伝え合う。</p> <p>【伝えタイム②】 トリオ</p> <p>○前時と比べ、伝えタイム①を通して考えが変わったり、広がったりしたことを伝え合う。</p> <p>【書きタイム】 全体</p> <p>○「自分の選んだ変化から言えること」について再度考え、BABに書き足す。</p>	<p>・対話の十分な時間を確保するために、違う変化を選んだ児童で予めグルーピングしておく。</p> <p>・記憶ではなく叙述を基に対話させるため、拡大した全文シートをグループに一枚用意する。</p> <p>・考えを広げさせるために、同じ変化を選んだ友達同士で、前時に記録したホワイトボードを活用しながら対話させる。</p>
まとめ (10分)	<p>【つなげタイム】 全体</p> <p>○振り返りをする。</p> <p>○次時の見通しをもつ。</p>	<p>◆友達の考えを聞き、自分の考えと比較することによって、考えを広げ、BABに書いている。</p> <p>【思】 ☆発言・記述</p> <p>・振り返りの視点を明確にするために、「自分の考えを広げられたかどうか」に絞って、ワークシートに書かせる。</p> <p>・次時の BAB 展覧会に向けての意欲を高めるために、単元のゴールを再度確認する。</p>

~~自分と友達の意見を比べて、自分の考えを広げよう。~~
変化から言えることを話し合っ書こう。

本文と結び付けて対話させるため、選んだ叙述に線を引かせておく。

対話に集中させるため、全体に広げるような大きな言葉掛けはしない。

多様な考えに触れた上で自分の考えをBABに書かせるため、書きタイムの前に全体共有の時間をとる。

より多様な考えに触れさせるため、書き終わった児童は後ろに集まり、BABを見合わせる。(付け足させる)

本文と結び付けさせるため、「どこに書いてあったの?」と言葉掛けする。

「平和になった。」「明るくなった。」等の抽象的思考に辿り着かせるために、変化から言えることが思い浮かばない児童には、「つまりどういうことか」と言葉掛する。

8 板書計画

一つの花⑤
 今西 祐行

④ 自分と友達の意見を比べて、自分の考えを広げよう。

同じ・ちがう

新しい発見

【変化】

食べる物は、お米、おいもや豆やかぼちゃ

戦争が終わって…

「母さん、お肉とお魚とどっちがいいの。」

【変化から言えること】

- ・ 戦時中は食べ物が無い。
- ・ 平和になった。
- ・ くらしやすくなった。
- ・ 今の生活は当たり前ではない。

★選んだ変化はちがっても、言いたいことは同じに

平和

明るくなった

楽しそう

9 机間指導の目的(◎)と言葉掛け(・)

◎ 伝えタイムで、対話が潤滑に行われるように、次のような言葉掛けを行う。

- ・ 自分が選んだ変化から言えることは、どんなことですか。
- ・ 「平和になった。」と考えたのは、どうしてですか。友達に説明してみましよう。
- ・ どの文章を読んでそう考えましたか。友達に伝えてみましょう。
- ・ 違う変化を選んだ人の考えと自分の考えを比べてどう思いましたか。
- ・ 前の学習と考えが変わったところがありましたか。
- ・ 友達の考えを聞いて、どんな共通点が見付けられましたか。
- ・ 違う変化を選んだ人も、「明るくなった。」と、同じ考えをもっている人がいましたね。他にもつながりはありそうですか。

10 資料

児童の書いた BAB